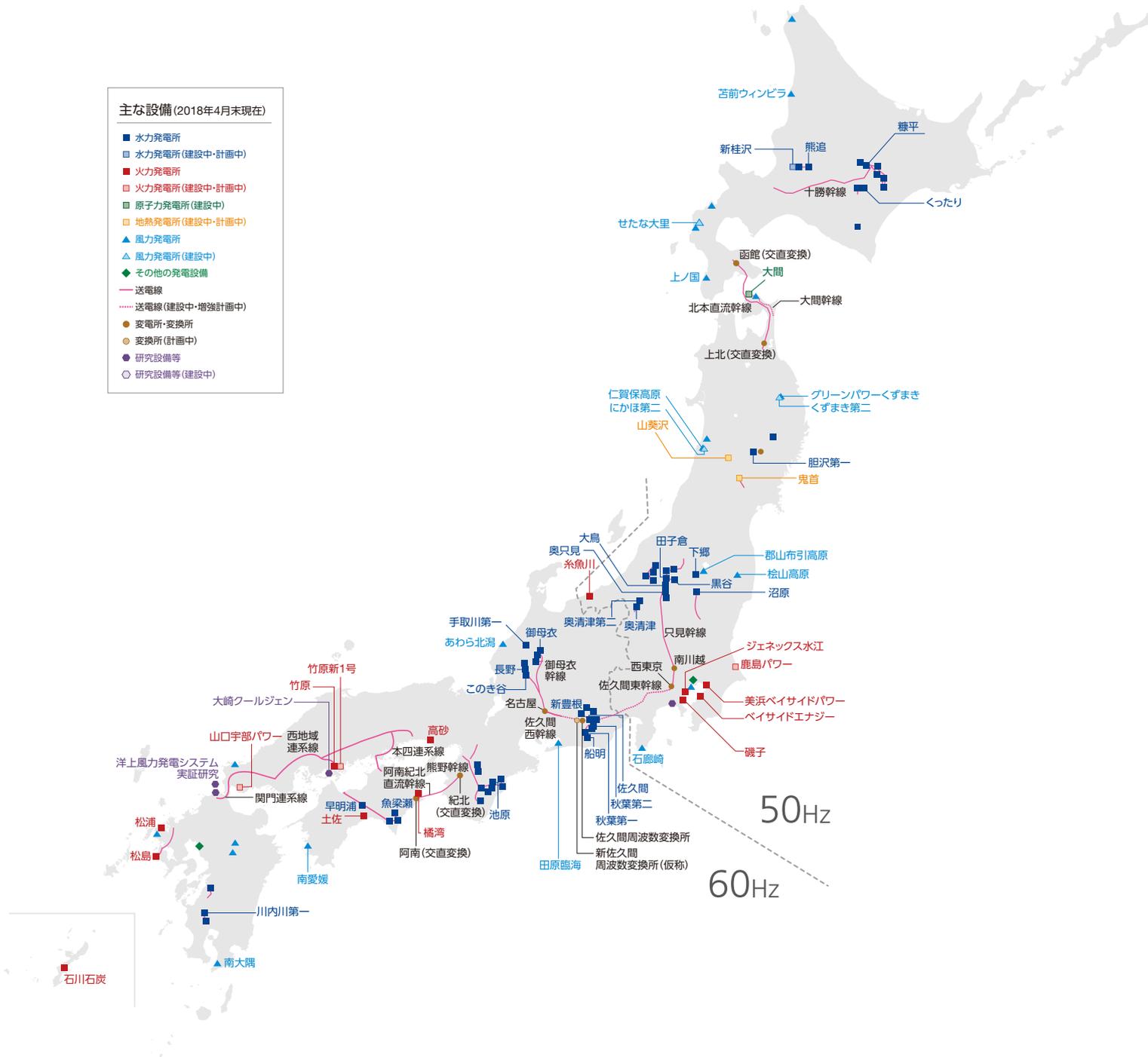


# 日本全国に展開するJ-POWERグループの事業

J-POWERグループは、日本全国に1,765万kW\*の発電所と約2,400kmの送電線や変電設備を保有・運営し、日本全体の電力の安定供給を支えています。

\*各プロジェクトの総出力に当社の持分比率を乗じて算出

- 主な設備 (2018年4月末現在)
- 水力発電所
  - 水力発電所 (建設中・計画中)
  - 火力発電所
  - 火力発電所 (建設中・計画中)
  - 原子力発電所 (建設中)
  - 地熱発電所 (建設中・計画中)
  - ▲ 風力発電所
  - ▲ 風力発電所 (建設中)
  - ◆ その他の発電設備
  - 送電線
  - 送電線 (建設中・増強計画中)
  - 変電所・変換所
  - 変換所 (計画中)
  - 研究設備等
  - 研究設備等 (建設中)



## J-POWERグループの国内電気事業設備(運転中)

(2018年4月末現在)

### J-POWERグループの設備

#### 発電設備(出力)

水力発電所	61カ所	857.2万kW
火力発電所*	12カ所	892.8万kW
風力発電所*	22カ所	44.3万kW
その他の発電設備	2カ所	3.2万kW
計	97カ所	1,797.7万kW

#### 送電設備(巨長)

交流送電線	2,410.2km
直流送電線	267.2km

#### 変電設備(出力)

周波数変換所(出力)	4カ所	430.1万kVA
------------	-----	-----------

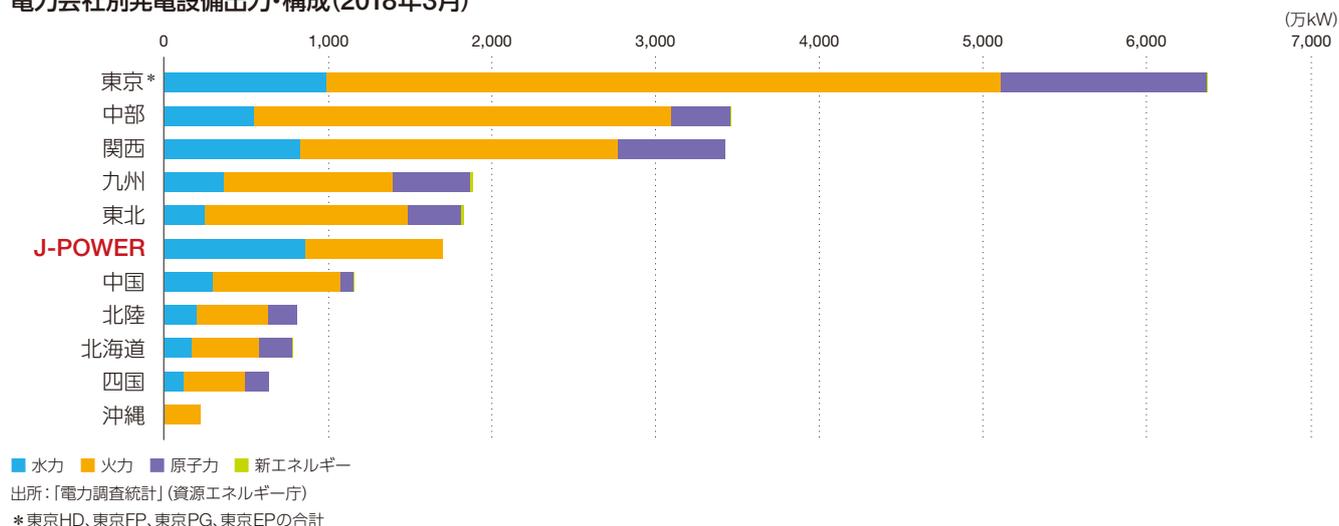
交直変換設備(出力)	1カ所	30.0万kW
------------	-----	---------

無線通信設備(回線巨長)	4カ所	200.0万kW
--------------	-----	----------

無線通信設備(回線巨長)		5,904km
--------------	--	---------

\*連結子会社または関連会社の設備(出資持分割合は考慮していません)。

## 電力会社別発電設備出力・構成(2018年3月)



## 日本の電源別発電電力量の推移

かつては水力発電が主流でしたが、やがて豊富で安価な石油を使った火力発電へと移行。オイルショック以降、石炭や天然ガス、原子力等の開発が進み、電源の多様化が図られています。2011年の福島原子力発電所事故以降は、原子力発電所の停止が長期間継続しており、徐々に原子力発電所の再稼働は始まっているものの、石炭や石油、天然ガスによる火力発電が電力供給の軸を担っています。

